



意和氣



第20号 2026. 8. 24(月)

夏休みが明けて前期後半がスタート

長かった夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。終わってみるとあっという間だったと感じている子どもも多いのではないのでしょうか。充実した夏休みを経て、心身ともにたくましく成長した子どもたちの姿を見られたことを、大変うれしく思います。夏休みの32日間に大きな事故や怪我がなく過ごすことができたのは、地域・保護者の皆様のご支援のおかげと、感謝しております。引き続き、子どもたちの安全の確保について、ご協力をお願いします。

さて、10月8日(木)の前期終業式までの授業日数は、あと1ヶ月ほどとなりました。まずは、前期後半のよいスタートを切れるようにしていきたいものです。そのためにも「凡事徹底」を継続していってほしいと思います。前期後半は、期末テスト、地区秋季大会、学校祭など、様々な行事が予定されています。子どもたちが多くのことに挑戦し、これまでの努力の成果を発揮する機会でもあります。自分が望む結果を出す(＝なりたい自分になる)ためにも、一日一日を丁寧に積み重ねて力をつけてほしいと願っています。

まだまだ暑い日が続く、熱中症が心配されます。生活リズムを整え、体調管理をしっかり行い、元気に過ごしてほしいと思います。ご家庭でも、健康へのご配慮をお願いいたします。

今後とも、学校の教育活動にご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

授業研究会で力を発揮しました

7月17日(金)に県教育委員会から2名の指導主事をお迎えして、授業研究会を行いました。

3Aの理科の授業では、「遺伝」について学習しました。カードを使った実験を通して、



その規則性について確かめました。1Aの道徳では、「いつもの教室で」という教材をもとに、集団の中の一人として公正

に行動することの意味を考える授業を行いました。

指導主事の先生からは、「生徒が興味をもって進んで実験に取り組んでいた」「タブレット

をうまく使って、みんなで協力して学習していた」「生徒が自分の考えを素直に、のびのびと表現している」「お互いに意見



見を聞き、自分の意見と比較しながら真剣に考えていた」など生徒の様子を褒めていただきました。

どちらの授業も、本校で目指している「主体的・協働的な学び」「学ぶ喜びを実感できる活動」が見られる授業でした。今後も子どもたちが学びの楽しさを感じることができる授業づくりを進めてまいります。

人権について考えました

7月14日(火)に、本荘人権擁護委員4名をお迎えし、人権教室を行いました。1、2年生の道徳の時間に「自分と他者の人権について理解を深める」、「お互いを認め他者を尊重することで、人権が尊重される社会につながることに気付くようにする」ことをねらいに



「『リスペクトアザース』とは？」というテーマで授業を行いました。



このテーマについて動画を視聴し、アメリカと日本の考え方の違いから人間関係に悩む主人公の気持ちの変化から、人間関係づくりや他者を尊重(リスペクト)

し合うことの大切さ考えました。授業を通して、周囲に敬意をもって接することや一人一人を尊重することなど、人権について理解を深めることができたようです。

授業で使用した動画は、法務省の公式YouTubeチャンネル(MOJchannel)などで視聴可能です。ぜひ、ご家庭でも視聴し、話題にしてください。

